

週刊

愛知民報

2021年
9月19日
第2554号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 FAX(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

菅首相の政権投げ出しは「こんな政治は我慢ならない」という国民の世論と運動に追い詰められた結果です。9年間におよぶ安倍・菅政治、それを支えてきた自民党・公明党の政治の破たんもあります。

日本共産党愛知県委員会は12日に開いた総会で、「自民党は総裁選で表紙を替えることで危機を開きしよう」としていると指摘。「相手が構えをつくらるのを見定めてからという受け身の姿勢ではなく」攻勢的なたたかいを広げることを決定。総選挙は目前であり、「こ

れからの一日一日の取り組みが文字通り勝敗を分ける」と全党に決起を呼びかける決議を採択しました。

日本共産党は総選挙の取り組みについて「比例を軸」として、「総選挙は2票あります。小選挙区と比例代表です。

比例は「日本共産党」と政党名で選んでください」と訴えています。(関連記事3面)

東海で与野党逆転めざし支持拡大

比例は共産党



獲得議席に必要な票数

前回総選挙の投票率で試算(前回共産党約45万票)。

登録順位	1議席に必要な得票数	約32万票
1位	女性	
2位	男性	
3位	女性	

青年学生部副部長の各氏は同党愛知県委員会の宣伝キャラバンで支持を訴えています。(関連記事3面)

1965年5月に、愛知民報は創刊され、当時の桑原幹根知事の下で作成された愛知の地方計画に対する全面的な分析を報道しました。当時は月2回、その後、旬刊、そして現在の月4回の発行へと発展しました。

2020年10月4日から、1面、4面をカラー化し、21年9月12日付で2553号の発行となっています。途中、休刊をよぎなくされるときもありましたが、復刊し、継続的に発行をしてきました。

愛知民報創刊号の「発刊のことば」は、「アカハタの補助機関紙」として出されるのが、愛知県の共産党の新聞「愛知民報」です。この「愛知民報」は、地域の政治新聞であるアカハタの足らないところを補い、県民の目となり、耳となつて県下におこつているあらゆる問題を、働くもの立場にたつて、積極的に報道していくまつたかいの武器となるのです。それは必ず大きなものです。読者のみなさんの積極的なご支持と協力によって、県民に真実をしらせ、県に勇気をあたえ、県

民にたたかいでゆく手をしめす羅針盤としてできる立派な新聞として育てていきたい」と述べています。

この発刊のことばの趣旨に沿って愛知民報は、県下の様々な問題を、科学的・社会主義の立場で問題の解明と展望を指し、県下の様々な問題を、科学的・社会主義の立場で問題の解明と展望を指し、県下の様々な問題を、科学的・社会主義の立場で問題の解明と展望を指します。

重要な県民運動、公

民にたたかいでゆく手をしめす羅針盤としてできる立派な新聞として育てていきたい」と述べています。

今年の総選挙は、8月に行われた日本共産

党第3回中央委員会総選挙、②コロナ危機の体験を踏まえ、③党の歴史で初めて、政権交代、新しい

選挙で、政権交代、新しい

選挙で、政権交代、新しい